

【報道関係各位】

2013年3月26日
株式会社ライフメディア
ニフティ株式会社
株式会社コムニコ

**ニフティとライフメディア、コムニコ、共同で
2013年度の新社会人を対象としたソーシャルメディアの利用実態調査を実施
～ソーシャルメディアは“日常”だが、入社後の上司、先輩への友達申請は
半数以上が“可能な限りしようと思わない”～**

ニフティ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：三竹 兼司、以下ニフティ）と株式会社ライフメディア（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：宮澤 徹、以下ライフメディア）、株式会社コムニコ（本社：東京都港区、代表取締役社長：林 雅之、以下コムニコ）は共同で、2013年4月に社会人になる学生を対象に、ソーシャルメディアの利用実態調査を行いました。

<調査概要>

- ・調査対象：2013年4月に社会人になる20～26歳のソーシャルメディアを利用している学生（専門学校生は除く）
 - ・有効回答数：559人（男性212人、女性347人）
 - ・調査期間：2013年3月8日（金）～3月11日（月）
 - ・調査方法：インターネットによるアンケート調査
- ※調査結果の数値は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しています。

<調査結果トピックス>

1. 2013年度の新社会人、60.6%がソーシャルメディアは“日常生活の一部”。
82.3%が毎日利用。
2. 24.5%が就職活動で活用。女性は「友人との情報共有」が多い傾向。
3. されたら断れない？上司・先輩からの友達申請。「Twitter」はプライベートで使いたい。

<調査の要旨>

1. 2013年度の新社会人、60.6%がソーシャルメディアは“日常生活の一部”。
82.3%が毎日利用。

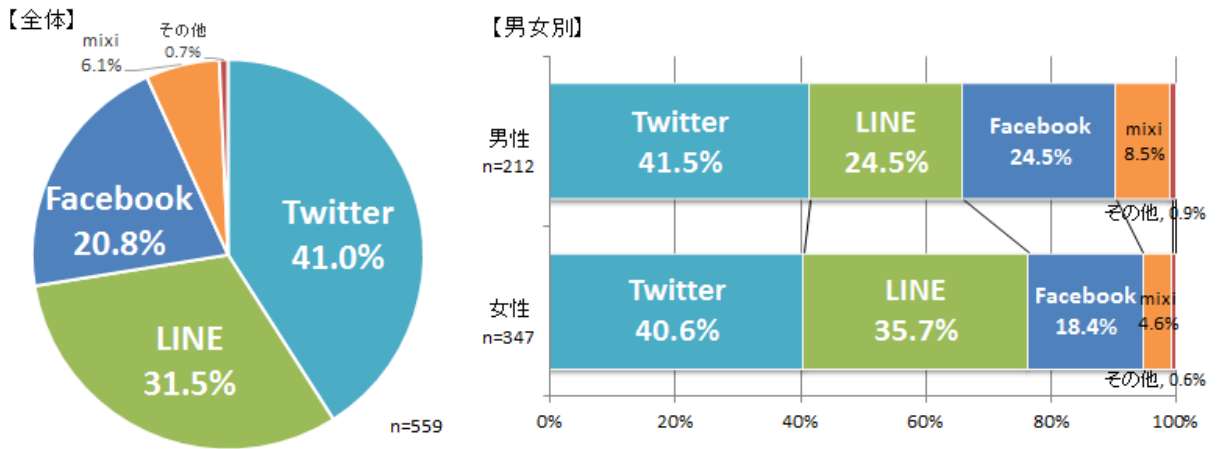
2013年度の新社会人が最も利用するソーシャルメディアは「Twitter」で41.0%、次いで「LINE」31.5%、「Facebook」20.8%となった。男女別でみると女性の方が「LINE」の利用率が高い（35.7%）ことが分かった（グラフ1）。

ソーシャルメディアの利用頻度は「1日に何度も」「1日に一回程度」が回答者の82.3%を占め（グラフ2）、60.6%が「日常生活の一部だと思う」と回答した（グラフ3）。また、3人に1人となる33.5%が、ソーシャルメディア上で知り合った人と実際に会ったことがあると回答した（グラフ4）。

投稿内容に対する反応を「意識している」「やや意識している」は合わせて58.0%（グラフ5）で、複数サービスに登録している場合、52.2%が「サービスによって書き込む内容が違う」と回答した（グラフ6）。

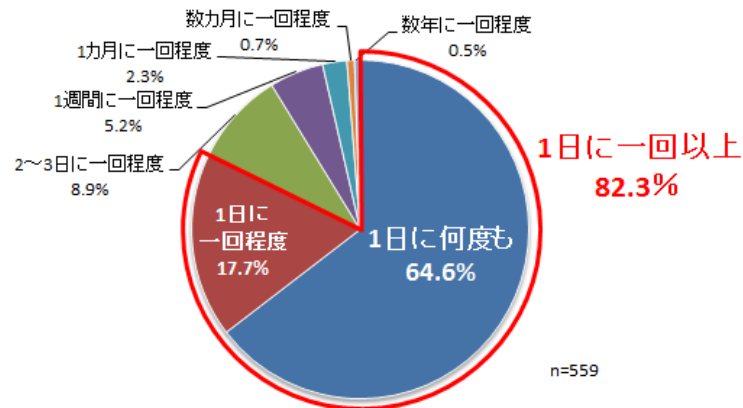
(グラフ1)

Q. あなたが最もよく利用しているソーシャルメディアをひとつお選びください。(単一回答)



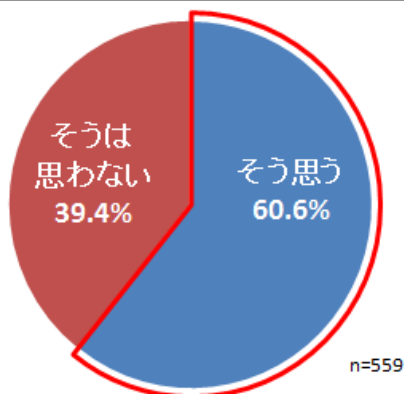
(グラフ2)

Q. あなたは普段ソーシャルメディアをどのくらい利用していますか。(単一回答)



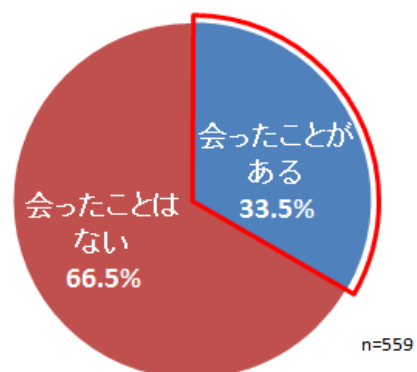
(グラフ3)

Q. あなたにとって、ソーシャルメディアは日常生活の一部だと思いますか。(単一回答)



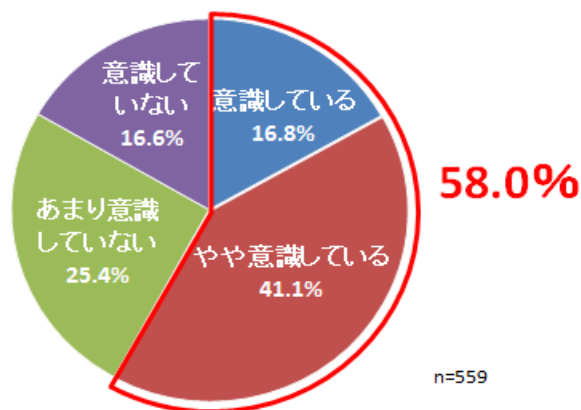
(グラフ4)

Q. あなたはソーシャルメディア上で知り合った人と、実際に会ったことがありますか。(単一回答)



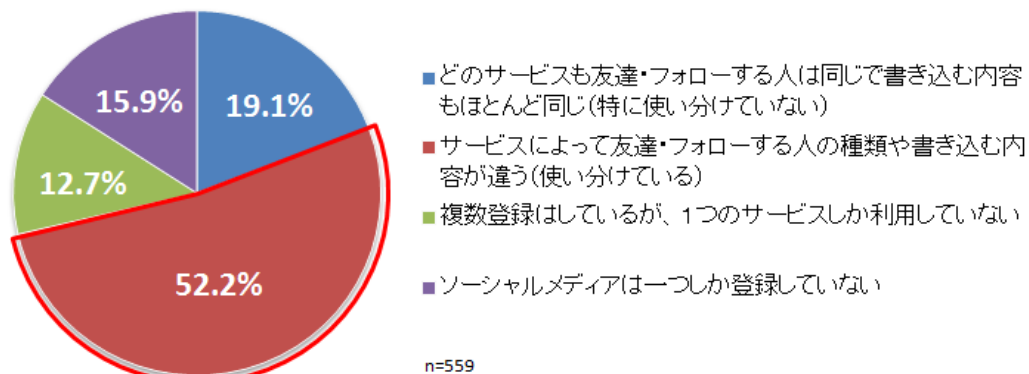
(グラフ5)

Q.あなたは投稿内容が、ソーシャルメディア上でどのような反応を受けるか意識していますか。(単一回答)



(グラフ6)

Q.サービスの使い方として、当てはまるものをお選びください。(単一回答)



「使い分けている」が過半数

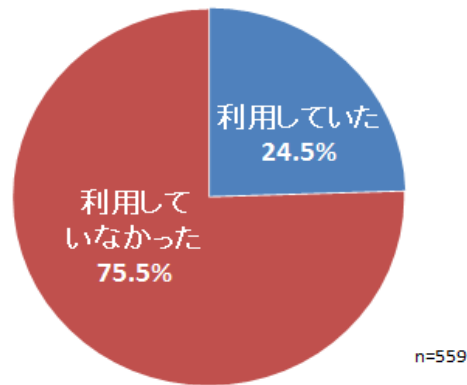
2. 24.5%が就職活動で活用。女性は「友人との情報共有」が多い傾向。

就職活動にソーシャルメディアを利用していたのは24.5%で(グラフ7)、主な利用用途には「就職フェアなどの情報収集」や「企業から発信された採用情報の収集」、「友人・知人と就職活動の情報共有」があげられた(グラフ8)。利用用途をサービス別・男女別にみると、「Twitter」「Facebook」とともに、男性は公開されているものの「情報収集」に利用し、女性は男性に比べて「友人・知人との就職活動の情報共有」に利用する傾向が見られた(グラフ9)。

ソーシャルメディアというツールが就職活動に「とても活用できる」「やや活用できる」としたのは合わせて47.6%だった(グラフ10)。

(グラフ7)

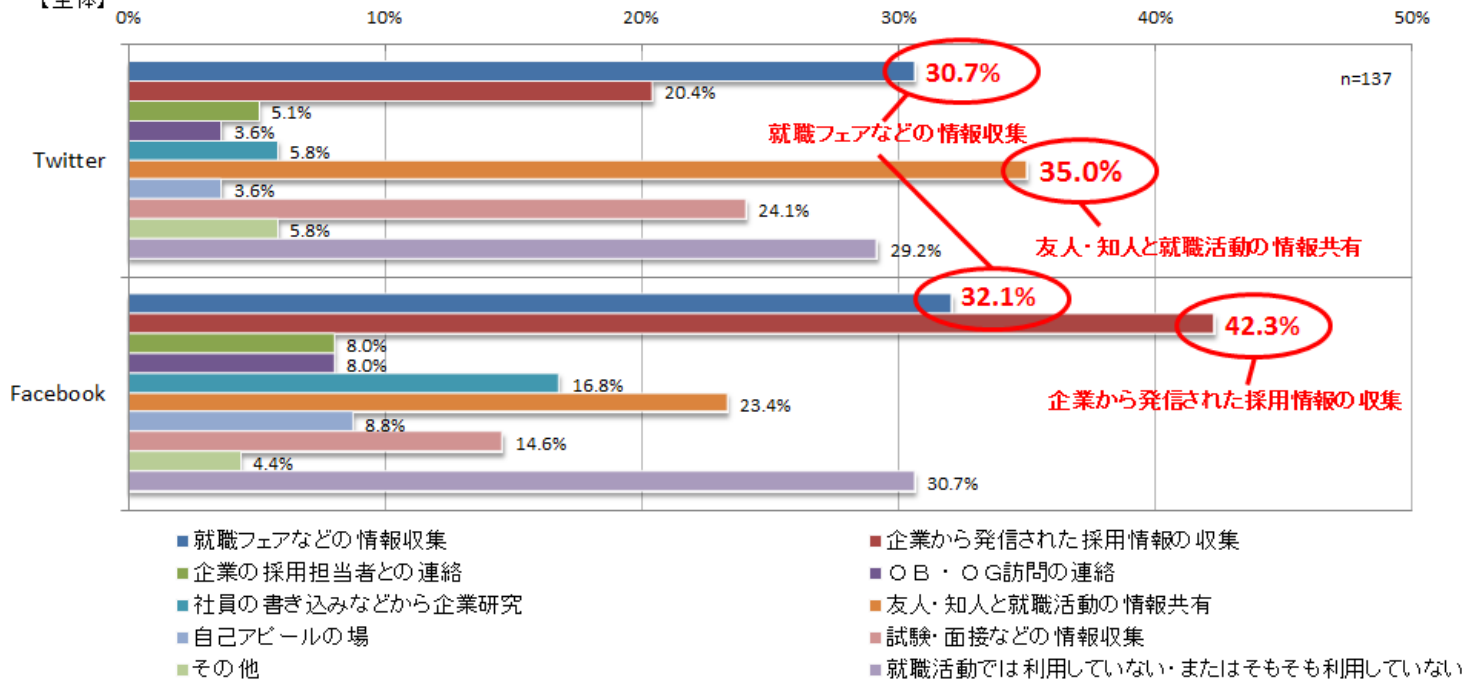
Q.あなたは就職活動にソーシャルメディアを利用していましたか。(単一回答)



(グラフ8)

Q.あなたは就職活動で、ソーシャルメディアをどのように利用していましたか。それぞれのソーシャルメディアごとにお選びください。(複数回答)

※ 就職活動にソーシャルメディアを「利用していた」回答者の回答のうち、60%以上何かしらの用途で利用していた「Twitter」「Facebook」を抜粋。
【全体】

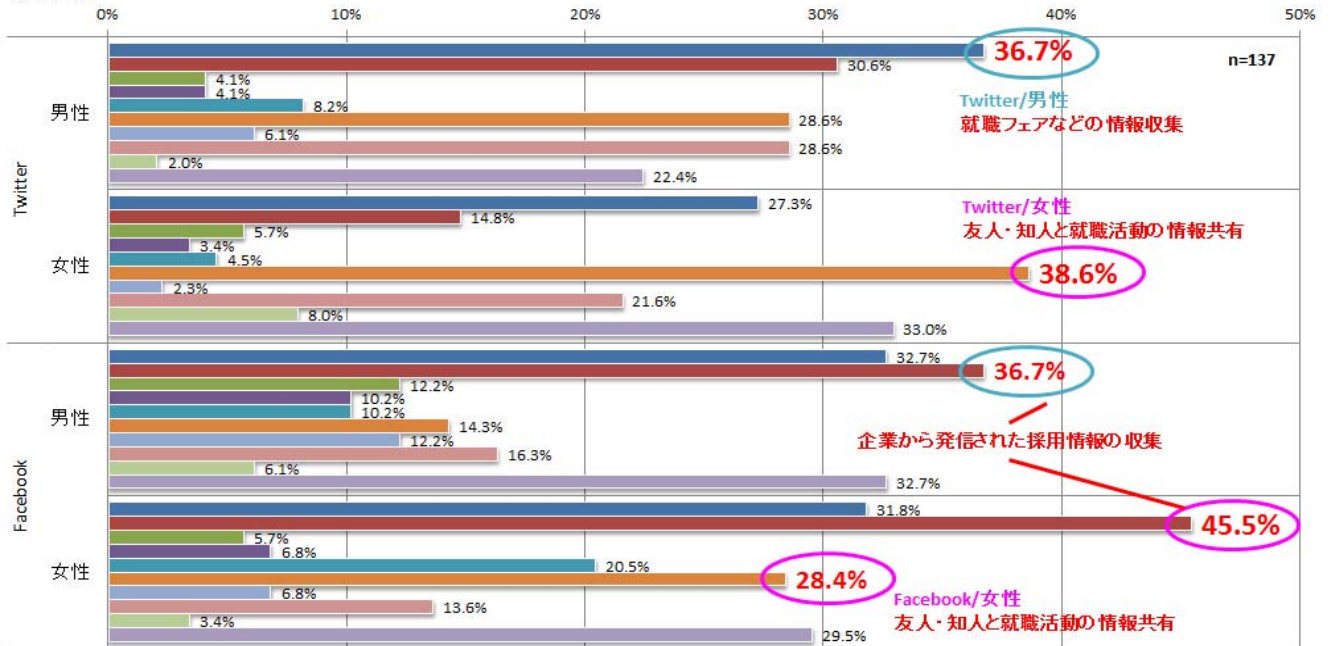


(グラフ9)

Q.あなたは就職活動で、ソーシャルメディアをどのように利用していましたか。それぞれのソーシャルメディアごとにお選びください。(複数回答)

※就職活動にソーシャルメディアを「利用していた」回答者の回答のうち、60%以上が何かしらの用途で利用していた「Twitter」「Facebook」を抜粋。

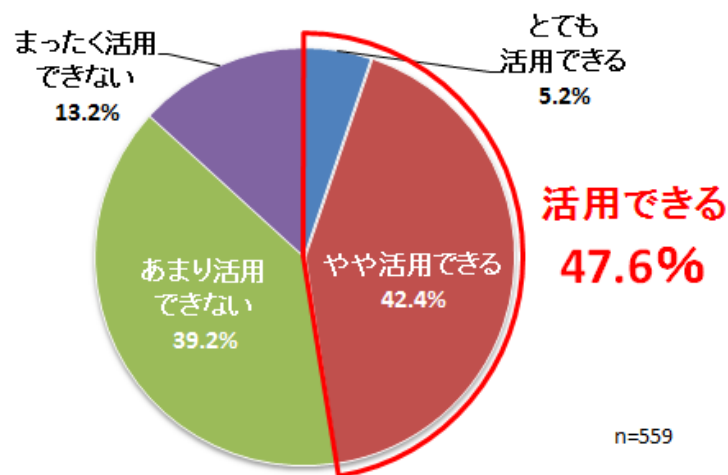
【男女別】



- 就職フェアなどの情報収集
- 企業の採用担当者との連絡
- 社員の書き込みなどから企業研究
- 自己アピールの場
- その他
- 企業から発信された採用情報の収集
- OB・OG訪問の連絡
- 友人・知人と就職活動の情報共有
- 試験・面接などの情報収集
- 就職活動では利用していない・またはそもそも利用していない

(グラフ10)

Q.ソーシャルメディアは就職活動に活用できるツールだと思いますか。(単一回答)

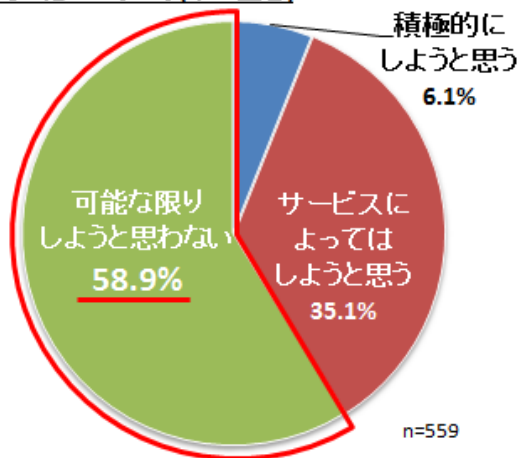


3. されたら断れない？上司・先輩からの友達申請。「Twitter」はプライベートで使いたい。

入社後、上司や先輩社員への自分からの友達申請について、「積極的にしようと思う」は6.1%にとどまり、「サービスによってはしようと思う」は35.1%、「可能な限りしようと思わない」は半数を超える58.9%となった（グラフ11）。一方、上司や先輩社員から友達申請が届いた場合には「積極的に承認する」が28.8%、「サービスによってはしようと思う」が42.8%、「可能な限りやり過ぎそうと思う」が28.4%となった（グラフ12）。※回答理由（フリーアンサー）の抜粋を文末に掲載。

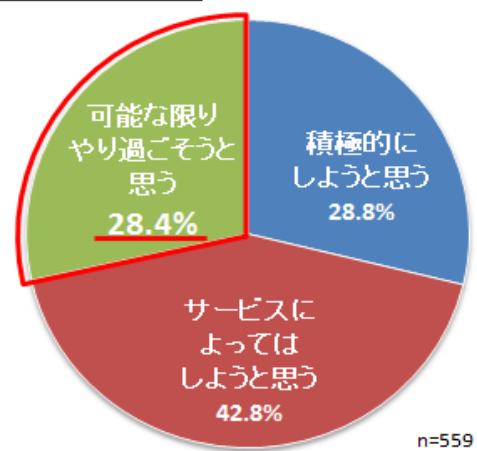
（グラフ11）

q.あなたは入社後、上司や先輩社員への友達申請をしようと思いますか。(単一回答)



（グラフ12）

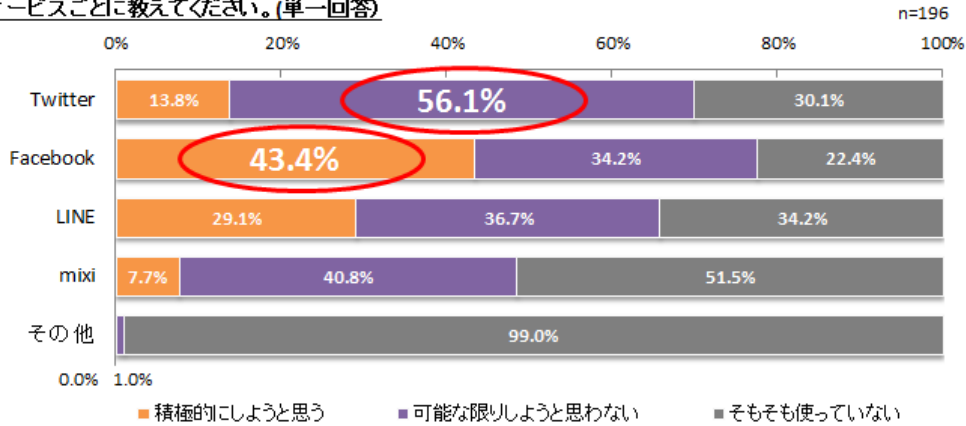
q.あなたは上司や先輩社員から友達申請が届いた場合、承認しますか。(単一回答)



「サービスによってはしようと思う」の内訳では、自分からの申請においては、43.4%が「Facebook」は「積極的にしようと思う」と回答し、他のサービスと比べて最も多かった。上司や先輩社員からの友達申請に対しては、「LINE」は36.4%、「Facebook」は35.1%が「積極的に（承認）しようと思う」と回答した。なお、自分からの申請、上司や先輩社員からの申請承認のいずれも、「Twitter」は半数以上が「可能な限りしようと思わない」と回答していて、よりプライベートな利用に制限したいと見取れていることが見て取れた（グラフ13、14）。

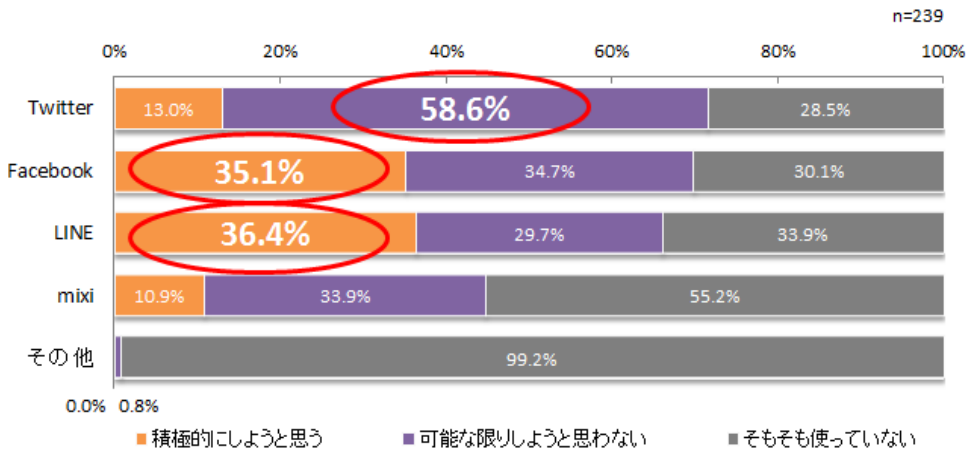
(グラフ13)

Q.「サービスによってはしようと思う」と回答した方にお聞きします。
あなたは入社後、上司や先輩社員への友達申請をしようと思いませんか。
サービスごとに教えてください。(単一回答)



(グラフ14)

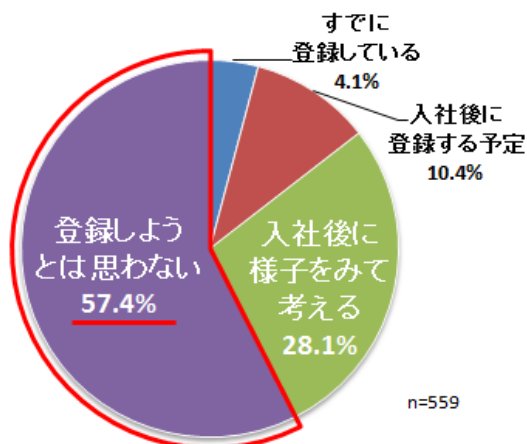
Q.「サービスによってはしようと思う」と回答した方にお聞きします。
上司や先輩社員から友達申請が届いた場合、承認しますか。サービスごとに教えてください。(単一回答)



入社後の利用について、ソーシャルメディア上の「勤務先」の項目に「すでに登録している」「入社後に登録する予定」と回答したのは合わせて 14.5%にとどまり、「登録しようとは思わない」が 57.4%と半数を超えた (グラフ 15)。また、「仕事上の人脈づくりや情報収集などでソーシャルメディアを活用したいか」という問いに対して「したいと思う」「ややしたいと思う」と答えたのは合わせて 37.9%、「あまり思わない」「思わない」が合わせて 62.1%となった (グラフ 16)。

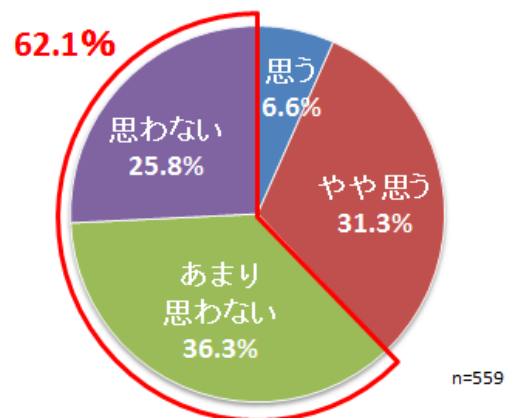
(グラフ15)

Q.あなたはソーシャルメディア上の「勤務先」の項目に、入社予定の会社を登録しますか。(単一回答)



(グラフ16)

Q.あなたは入社後、仕事上の人脈づくりや情報収集などでソーシャルメディアを活用したいと思いますか。(単一回答)



ニフティとライフメディア、コムニコは、今後も継続してソーシャルメディアに関する調査を実施し、公開していきます。

●参考)

【グラフ 11、12 の回答理由抜粋】

(表1)グラフ11(自分から友達申請をするか)の回答理由 ※抜粋

積極的にしようと思う
早く信頼関係を築きたいから。
仲良くなれる機会は一つでも増やしたいから。
会社だけの付き合いでなく、日常生活で触れ合うことで職場の雰囲気良くなる。
社会の場においても、人間関係が1番大事だと考えているため。
コミュニケーションをとることが大事であると思うから。
サービスによってはしようと思う
Facebookは誰に見られてもいいような内容用として使用しているため。
プライベートと仕事を分けたいから。
相手側に迷惑のかからないサービスならしたいと思う。
Twitterは高頻度で今日の出来事を書き込むので仕事のことを書けなくなるとつらい。
LINEは連絡手段として便利だから。
可能な限りしようとは思わない
プライベートと仕事は分けたい。しかし仲良くなりたいと思った人ならば別。
現実とネットは分けたい。
トラブルなどを避けるため。
相手から来る場合はいいが、わざわざ自分から申請しようとは思わないから。
親密な人とだけで共有したいと思っていて、上司や先輩はそれに含まれないから。

(表2)グラフ12(上司や先輩社員からの申請を承認するか)の回答理由 ※抜粋

積極的にしようと思う
上司とも友好関係を築きたいから。
断ったら失礼だと思うから。
相手方が希望するなら拒否する理由はとくに感じないから。
上司や先輩社員から申請が届き、拒むと気まずいため。
人によっては、承認した方がメリットがあるから。
サービスによってはしようと思う
Twitterはあまり見られたくない。
LINEなどは連絡がとりやすいという理由で使えるから。
Facebookは実名制なので知らんぷりをできない。
自分があまり利用しないサービスであれば承認してもよい。
仕事により影響があるならばよいと思う。
可能な限りやり過ぎそうと思う
上司や先輩がいると発言内容に気を遣ってしまうので、SNSでは友達になりたくないから。
承認後に発信しにくくなる。
オンとオフは区別したいため。
煩わしいので。
プライベートに入り込んでほしくない。
断るのは失礼にあたるので承認せざるを得ないが、気持ちとしてはあまりしたくない。

【過去の調査結果】

- ・「新成人を対象としたソーシャルメディアの利用実態調査」

アドレス <http://www.lifemedia.co.jp/news/release/pr130111.pdf>

■株式会社ライフメディア（<http://www.lifemedia.co.jp/>）

株式会社ライフメディアは、アンケートサイト『ライフメディア』を運営する企業です。約 52 万人のメンバーを対象に市場調査・広告はもとより、ネット上でのコミュニケーションをベースにしたさまざまなマーケティング・サービスを提供しております。

■ニフティ株式会社（<http://www.nifty.co.jp/>）

ニフティ株式会社は、インターネットサービス「@nifty（アット・ニフティ）」を運営するインターネットサービス事業者です。“ニフティとなら、きっとかなう。With Us, You Can.”をコーポレートメッセージとし、高品質で安心・安全なサービスの提供を通じて、お客様の日々の生活をより便利で豊かにするための支援をしています。

■株式会社コムニコ（<http://www.comnico.jp/>）

株式会社コムニコは、企業の「Facebook ページ」の開設や運営で多数の実績があり、今後その経験を活かし、企業のソーシャルメディア上の活動をさまざまな形で支援してまいります。

以上

- 本調査結果をご使用になる場合は、事前にご連絡ください。

E-mail : pr@nifty.com

- 本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

- ・株式会社ライフメディア 武谷

Tel : 03-5433-6200 E-mail : pr@lifemedia.co.jp

- ・ニフティ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 神代（かしろ）、柴崎

Tel : 03-6807-4513 E-mail : pr@nifty.com

- ・株式会社コムニコ 相川、佐藤

Tel : 03-6364-9431 E-mail : info@comnico.jp

※「Facebook」は Facebook, Inc. の登録商標です。

※「Twitter」は Twitter, Inc. の商標または登録商標です。

※「LINE」は、NHN Japan 株式会社の商標または登録商標です。

※「mixi」は、株式会社ミクシィの登録商標または商標です。

※その他、製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。